

# めぐみイエス・キリスト教会

2019年1月6日(日)新年第一主日礼拝  
週報「通算第438号」



2019年標題聖句

第Ⅱペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまりくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～6時45分
聖書研究・祈祷会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年1月6日(新年第一主日礼拝)  
第一礼拝 午前10時～11時 第二礼拝 午後6時～7時

司会(奏楽) 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

### ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌343 「罪に満てる世界」 p. 546

【交読文】 No.25 詩篇第73篇 p. 899

【賛美Ⅱ】 新聖歌233 「驚くばかりの」 p. 354

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.14 「み言葉に帰ろう」

【聖書朗読】 第Ⅱペテロ1章5節～10節(新約p. 422上段)

【祈 禱】

【説 教】 《確かなものとしなさい(Part. 1)》 鈴木竜実牧師

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌162 「ハレルヤハレルヤ」 p. 232

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ※本日の聖書箇所【第Ⅱペテロの手紙1章5節～10節】

1:5 こういうわけですから、あなたがたは、あらゆる努力をして、信仰には徳を、徳には知識を、

1:6 知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、

1:7 敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。

1:8 これらがあなたがたに備わり、ますます豊かになるなら、あなたがたは、私たちの主イエス・キリストを知る点で、役に立たない者とか、実を結

ばない者になることはありません。

1:9 これらを備えていない者は、近視眼であり、盲目であって、自分の以前の罪がきよめられたことを忘れてしまったのです。

1:10 ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまりくことなど決してありません。

### ●ポイント1 「努力」とは？

#### ※ガラテヤ書1章13節～19節「パウロとペテロ」 (新約p.332下段左側)

1:13 以前ユダヤ教徒であったころの私の行動は、あなたがたがすでに聞いているところです。私は激しく神の教会を迫害し、これを滅ぼそうとしました。

1:14 また私は、自分と同族で同年輩の多くの者たちに比べ、はるかにユダヤ教に進んでおり、先祖からの伝承に人一倍熱心でした。

1:15 けれども、生まれたときから私を選び分け、恵みをもって召してくださった方が、

1:16 異邦人の間に御子を宣べ伝えさせるために、御子を私のうちに啓示することをよしとされたとき、私はすぐに、人には相談せず、

1:17 先輩の使徒たちに会うためにエルサレムにも上らず、アラビヤに出て行き、またダマスコに戻りました。

1:18 それから三年後に、私はケパをたずねてエルサレムに上り、彼のもとに十五日間滞在しました。

1:19 しかし、主の兄弟ヤコブは別として、ほかの使徒にはだれにも会いませんでした。

#### ※ガラテヤ書2章1節・9節～14節「2度目のエルサレム」(新約p.333上段)

### ●ポイント2 「御霊のたまもの」とは？

#### ※ガラテヤ人への手紙5章22節～23節前半「御霊によって」(新約p.339)

5:22 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、

5:23 柔和、自制です。

## ◎先週のメッセージの概要【クリスマスメッセージ(飼葉おけ)】

《ローマ最初の皇帝であるアウグスト(オクタヴィアヌス)は、ローマ帝国領に対して、徴税と徴兵の為に人口調査を課したのです。

人口調査は、出身地別に行なわれましたから、ダビデの子孫であったヨセフも、身重のマリヤを連れてベツレヘムにやって来ました。

当時、ダビデの子孫は数多く増えていましたから、住民登録するには順番待ちをしなくてはならなかったのです。どこの宿も満員でした。

そんな頃にマリヤが産気づき、宿の女将が、人目の触れない、洞窟にある家畜小屋に案内したのです。ヨセフには初めての経験でしたから、女将がマリヤに付き添ったことは、間違いないことでしょう。

そして飼葉おけとは、その洞窟の壁に穴を開けて掘ったもので、生まれたばかりのイエス様は、そこに布にくるまれ寝かされたのです。

イザヤが預言者として召命された時に、最初に神様が与えた言葉が、「子らは私が大きくし育てた。しかし彼らは私に逆らった。牛はその飼い主を、ろばは持ち主の飼葉おけを知っている。それなのに、イスラエルは知らない。私の民は悟らない。」でした。これは、「救い主の誕生を、選民イスラエルは知らない。私の民は悟らない。」という意味であって、「ろばは持ち主の飼葉おけを知っている。」とは、羊飼いには、主人(救い主)の飼葉おけが分かる、という意味でもあるのです。

当時、一番嫌われた職業は羊飼いでした。御使いガブリエルは、喜びの訪れを、真っ先に羊飼いたちに、もたらしたのです。そしてそのしるしは、「あなたがたは、布にくるまって飼葉おけに寝ているみどりごを見つける」であって、羊飼いである彼らは「飼葉おけ」が何であるのか、そしてそれが洞窟の家畜小屋にあることも知っていたのです。

羊飼いたちは、御使いが言われた通りであったことを、母マリヤに告げ知らせます。神様が下さった最高のプレゼント。それは神が人となって下さったイエス・キリスト。今日はその誕生を祝う日なのです。》

## ◎お知らせ

※次回の礼拝は1月13日(日)です。1月20日(日)鈴木牧師は、聖書キリスト教会にて午後2時から行なわれる「教会大会」に出席しますから、第二礼拝は、午後7時から行ないます。次回祈祷会は1月9日(水)午後6時15分からです。